

日本史

I 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問15)に答えなさい。

7世紀前半に〔1〕氏や王族により広められた仏教中心の文化を、飛鳥文化という。朝鮮王朝や中国王朝の文化の影響を多く受け、さらには当時の西アジア・インド・ギリシアともつながる特徴もっていた。寺院が建立され、古墳にかわり寺院が豪族の権威を示すものとなった。

7世紀後半から8世紀初頭にかけて、仏教文化を基調とした白鳳文化が生まれた。〔2〕初期の文化の影響を受けており、仏教文化が急速に発展した。「〔3〕金堂壁画」にはインドや西域の影響が、「〔4〕古墳壁画」には中国や朝鮮の影響が認められ、中央官人だけでなく地方豪族にも漢字文化と儒教思想の受容が進んだ。

奈良時代になると、平城京を中心とした高度な貴族文化が開き、これを(A)聖武天皇の時代の年号をとって天平文化という。〔2〕の進んだ文化が重んじられたため、外来文化の影響を強く受け、国際色が豊かであった。国史編纂事業がおこなわれ、『古事記』『日本書紀』がつくられた。『古事記』は漢字の音・訓を用いた日本語文で記された。『日本書紀』は中国の歴史書の体裁をふまえた漢文の編年体で書かれた。貴族や官人には漢詩文の教養が必要とされ、現存最古の漢詩集『〔5〕』が編まれた。日本古来の和歌は、様々な階層の人々によってよまれ、歌集の『〔6〕』が編まれた。

平安遷都から9世紀末頃までの文化を、弘仁・貞観文化という。平安京で貴族を中心とした〔2〕風文化が発展した。漢字文化に習熟した貴族たちは、漢文をみずからのものとして使いこなすようになった。著名な文人に、嵯峨天皇・(B)空海・小野篁・菅原道真らがいた。

9世紀後半から10世紀になると、それまでの大陸文化をふまえ、日本人の人情・嗜好を加味し、日本の風土にあうよう工夫した文化が生まれた。とくに10世紀から11世紀の文化は国風文化と呼ばれる。国風化を象徴するのは、かな文字の発達であり、万葉仮名の草書体を簡略化した平かな、漢字の一部をとった片かなは、9世紀後半には広く使われるようになった。和歌が盛んになり、最初の勅撰和歌集の(C)『古今和歌集』が編集された。かな物語では、伝説を題材にした『竹取物語』、歌物語の『伊勢物語』、宮廷貴族の生活を題材にした(D)『源氏物語』が生まれた。また宮廷生活の体験を随筆風に記した『枕草子』も生まれた。

(E)院政期になると、新たに台頭してきた武士や庶民、その背後にある地方文化を取り入れたものが生まれた。後三年合戦を描いた『後三年合戦絵巻』などが制作され、『大鏡』や『今鏡』など和文体の歴史物語が記された。これは当時、貴族たちが地方の武士の動きに関心を寄せ、過去の歴史を振り返ろうとする思想のあらわれでもある。絵巻物は和絵の手法が用いられて発展し、『〔7〕』は動物を擬人化していきいきと描いている。

(F)鎌倉時代には、公家が担い手となっていた伝統文化を受け継ぎながらも、武士や庶民に支持された新しい文化が生まれ出された。武士の気風が影響を与え、南宋や元の文化がもたらされた。軍記物語では『〔8〕』が生まれ、琵琶法師によって平曲として語られたことで、文字を読めない人々にも広く親しまれた。宋・元の強い影響を受けて、瀬戸焼・〔9〕焼・備前焼など、陶器生産が発達した。

- 問1 文中の空欄 **1** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 大伴 ② 物部 ③ 蘇我 ④ 橘
- 問2 文中の空欄 **2** に入る国名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 漢 ② 魏 ③ 隋 ④ 唐
- 問3 文中の空欄 **3** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 法隆寺 ② 飛鳥寺 ③ 中宮寺 ④ 四天王寺
- 問4 文中の空欄 **4** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 箸墓 ② 江田船山 ③ 稲荷山 ④ 高松塚
- 問5 文中の空欄 **5** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 懐風藻 ② 文鏡秘府論 ③ 性霊集 ④ 菅家文章
- 問6 文中の空欄 **6** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 万葉集 ② 山家集 ③ 往生要集 ④ 金槐和歌集
- 問7 文中の空欄 **7** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 伴大納言絵巻 ② 鳥獣人物戯画 ③ 源氏物語絵巻 ④ 信貴山縁起絵巻
- 問8 文中の空欄 **8** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 将門記 ② 陸奥話記 ③ 平家物語 ④ 太平記
- 問9 文中の空欄 **9** に入る地名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 有田 ② 常滑 ③ 萩 ④ 平戸

問10 下線部(A)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **10** にマークしなさい。

- ① 国分寺建立の詔を出して、諸国に国分寺・国分尼寺をつくらせた。
- ② 近江の紫香楽宮で大仏造立の詔を出した。
- ③ 墾田永年私財法を発し、開墾した田地の私有を永年にわたって保障した。
- ④ 藤原不比等らに大宝律令をつくらせた。

問11 下線部(B)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **11** にマークしなさい。

- ① 長安で密教を学んだ。
- ② 東大寺戒壇の受戒制度にあきたらず、大乘戒壇の創設を目指した。
- ③ 紀伊の高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を開いた。
- ④ 嵯峨天皇から平安京に教王護国寺(東寺)を与えられた。

問12 下線部(C)が成立した10世紀前半に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **12** にマークしなさい。

- ① 醍醐天皇の時代には、摂政・関白がおかれず親政がおこなわれた。
- ② 平将門の乱や藤原純友の乱がおこった。
- ③ 六国史の最後である『日本三代実録』が編纂された。
- ④ 安和の変により藤原氏北家の勢力は不動のものになった。

問13 下線部(D)が成立した11世紀に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **13** にマークしなさい。

- ① 「本朝(皇朝)十二銭」の最後となった乾元大宝が発行された。
- ② 摂関家内部での摂政・関白の地位をめぐる争いは、藤原道長の時におさまった。
- ③ 紫式部は中宮彰子に仕えていた。
- ④ 後三条天皇は延久の荘園整理令を出した。

問14 下線部(E)に関する記述として正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **14** にマークしなさい。

- ① 摂政・関白が引き続いて任命され、政権の最高の座にあった。
- ② 自分の子孫に皇位を継承させようとしたところから始まった。
- ③ 各地の武士団の一部を荘園や公領の現地支配者である地頭に任命した。
- ④ 経済的基盤は、全国の約半分の知行国や500にのぼる荘園であった。

問15 下線部(F)に関する記述として正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を 15 にマークしなさい。

- ① 荘園や公領の領主は、年貢徴収を守護に請け負わせる守護請をさかんにおこなった。
- ② 幕府は、京都で高利貸を営む土倉や酒屋に土倉役・酒屋役を課し、交通の要所に関所を設けて関銭・津料を徴収した。
- ③ 惣村の結合をもとにした農民勢力が、困窮した武士などとともに、徳政を求めて蜂起した土一揆が、近畿地方を中心に頻繁に発生した。
- ④ 荘園や公領の領主は、地頭に荘園現地の管理いっさいを任せ、一定の年貢納入だけを請け負わせる地頭請所の契約を結んだ。

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問14)に答えなさい。

1716年に徳川幕府の7代将軍徳川家継が8歳で死去し、徳川家康以来の宗家が途絶えたため、紀伊藩主であった徳川吉宗が8代将軍となった。徳川吉宗は有能な人材を多く登用したほか、将軍みずから先頭に立って、(A)享保の改革と呼ばれる政治に取り組んだ。

10代将軍徳川家治の時代になると1772年に側用人から老中になった田沼意次が十数年にわたり実権を握った。田沼意次は再び行き詰まりだした幕府財政を再建するために、年貢増徴だけに頼らず民間の(B)経済活動を活発にし、そこで得られた富の一部を財源に取り込もうとしたほか、16・手賀沼の大規模な干拓工事を始めるなど新田開発も積極的に試みた。また、仙台藩の医師工藤平助の意見を取り入れ17らを蝦夷地に派遣して、その開発やロシア人との交易の可能性を調査させた。しかし、一方で(C)武士本来の土風を退廃させたとする批判が強まり、徳川家治が死去すると、老中を罷免されて多くの政策も中止となった。

学問分野では、徳川吉宗が漢訳洋書の輸入制限をゆるめ、青木昆陽や野呂元丈らにオランダ語を学ばせたこともあって洋学はまず蘭学として発達し始めた。洋学をいち早く取り入れたのは実用の学問としての医学である。前野良沢や杉田玄白らが西洋医学の解剖書を訳述した『18』はその画期的な成果であった。また、稲村三伯は蘭日辞書である『19』をつくった。一方で、20が『古事記伝』を著すなど、日本古来の道を説く国学も発展し、(D)水戸学などの尊王論も主張された。

11代将軍徳川家斉の補佐として老中に就任したのが白河藩主松平定信であった。松平定信は(E)寛政の改革と呼ばれる改革政治をおこない幕政を引き締めたが、きびしい政策は民衆の反発を招いた。寛政期以降、幕府は、外交政策では(F)ロシア・イギリスのような武力をとまなう列強に対し強い警戒心を抱き、これらの列強をあらたな外敵として想定した。12代将軍徳川家慶のもとで水野忠邦がおこなった政治は(G)天保の改革と呼ばれるが、この改革は失敗に終わり、幕府権力の衰退を示した。

寛政の改革の引き締めにより、宝暦・天明期に多様に発展しはじめた文化は一時停滞したが、19世紀にはいと再び息を吹き返した。天保の改革の頃までの時期の文化は化政文化と呼ばれる。化政文化では町人文化が最盛期を迎え、(H)滑稽さや笑いとともなう庶民の生活をいきいきと描いた絵入りの滑稽本、恋愛ものを扱った人情本、文章を主とする小説で歴史や伝説を扱った読本が流行した。俳諧では信濃の百姓21が村々に生きる民衆の生活をよんで庶民の主体性を強く打ち出した。美術では錦絵の風景画が流行し(I)葛飾北斎らの絵は安価で広く普及した。

問1 文中の空欄16に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 飯沼 ② 印旛沼 ③ 紫雲寺潟 ④ 見沼

問2 文中の空欄 **17** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 伊能忠敬 ② 長久保赤水 ③ 間宮林蔵 ④ 最上徳内

問3 文中の空欄 **18** **19** に入る語句を次の①～⑧の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 蔵志 ② 解体新書 ③ ハルマ和解 ④ 西説内科撰要
⑤ 蘭学階梯 ⑥ 国意考 ⑦ 采覧異言 ⑧ 西洋紀聞

問4 文中の空欄 **20** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 本居宣長 ② 平賀源内 ③ 賀茂真淵 ④ 塙保己一

問5 文中の空欄 **21** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 井原西鶴 ② 松尾芭蕉 ③ 小林一茶 ④ 近松門左衛門

問6 下線部(A)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **22** にマークしなさい。

- ① 相対済し令を出し、金銀貸借についての争いを幕府に訴えさせず当事者間で解決させた。
② 大名から石高1万石につき100石を臨時に上納させる上げ米を実施した。
③ 海舶互市新例を出して貿易額を制限した。
④ 評定所に目安箱を設けて庶民の意見を聞いた。

問7 下線部(B)に関する田沼意次の政策として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **23** にマークしなさい。

- ① 株仲間を広く公認した。
② 運上と冥加を廃止し、経済を活発化させた。
③ 南鐮二朱銀など、定額の計数銀貨を鑄造させた。
④ 銅や俵物を輸出して貨幣鑄造のための金・銀の輸入をはかった。

問8 下線部(C)の原因として適切でないものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **24** にマークしなさい。

- ① 幕府役人のあいだで賄賂や縁故による人事が横行した。
② 飢饉がおこり、一揆や打ちこわしが全国で頻発した。
③ 田沼意次の子の田沼意知が江戸城内で刺殺された。
④ 大塩平八郎が反乱をおこした。

問9 下線部(D)を主張した人物を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **25** にマークしなさい。

- ① 徳川慶福 ② 徳川斉昭 ③ 松平慶永 ④ 松平容保

問10 下線部(E)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **26** にマークしなさい。

- ① 飢饉に備えて、各地に社倉・義倉を作らせて米穀を蓄えさせた。
 ② 正業をもたない者に資金を与えて農村に帰ることを奨励した。
 ③ 株仲間の解散を命じた。
 ④ 寛政異学の禁を出し、朱子学を正学とした。

問11 下線部(F)に関連のない出来事を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **27** にマークしなさい。

- ① ラクスマンの根室来航 ② シャクシャインの戦い
 ③ グローウニン事件 ④ フェートン号事件

問12 下線部(G)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **28** にマークしなさい。

- ① 儉約令を出して、ぜいたく品や華美な衣服を禁じた。
 ② 出版統制令を出した。
 ③ 人返しの法を出した。
 ④ 上知令を出して江戸・大坂周辺の直轄領を増やそうとした。

問13 下線部(H)に関して作品名と著者の組み合わせとして正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **29** にマークしなさい。

- ① 『雨月物語』 — 十返舎一九
 ② 『浮世風呂』 — 為永春水
 ③ 『東海道中膝栗毛』 — 式亭三馬
 ④ 『南総里見八犬伝』 — 曲亭馬琴

問14 下線部(I)の作品を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **30** にマークしなさい。

- ① 『富嶽三十六景』 ② 『東海道五十三次』
 ③ 『名所江戸百景』 ④ 「朝比奈小人嶋遊び」

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問15)に答えなさい。

1894(明治27)年、(A)日清戦争が始まった。日本国内では、開戦と同時に政党は政府批判を中止し、議会は戦争関係の予算・法律案をすべて承認した。しかし、第3次伊藤博文内閣は、総選挙でのび悩んだ(B)自由党との提携をあきらめて超然主義に戻った。これに対し、自由・進歩両党は合同して [31] を結成した。第3次伊藤博文内閣に代わって成立した第1次大隈重信内閣もわずか4カ月の短命に終わり、かわった(C)第2次山県有朋内閣は、政党の影響力をそぐとともに政治・労働運動の規制を強化した。第4次伊藤博文内閣を経て、[32] の率いる軍部・官僚・貴族院勢力と、伊藤博文のあとを受けた [33] の率いる政党とが、政界を二分した。

1900(明治33)年、中国では「扶清滅洋」をとなえる義和団が勢力を増して各地で外国人を襲った。日本を含む列国は、連合軍を派遣し、[34] が勃発するにおよび、ロシアは満洲を事実上占領するにいたった。日本政府は、1902(明治35)年の日英同盟の成立後も対露交渉を続けるかたわら開戦準備を進めた。これに対し、キリスト教徒の内村鑑三や、社会主義者の幸徳秋水らは [35] をとなえた。だが、1904(明治37)年初めに日本とロシアの交渉は決裂し、(D)日露戦争が始まった。日本は [36] ・イギリス両国の経済的支援を得て、さらにロシア国内の混乱もあって戦局を有利に進め、ロシアを相手に勝利した。日露戦争後の日本は、保護国としていた韓国を植民地化し、ロシアの権益を継承した(E)満洲においても、その権益の確立につとめた。

日本の近代産業は日清戦争から日露戦争の時期にかけて大きく発展した。その中心となったのは、(F)紡績業である。1883(明治16)年に [37] が設立した大阪紡績会社が開業し、輸入の紡績機械・蒸気機関を用いた1万錘の大規模経営に成功した。

日露戦争前後には、人間社会の暗い現実の姿をありのままに写し出そうとする自然主義が文壇の主流となった。ロマン主義から出発した [38] も社会主義思想を盛り込んだ生活詩をうたい上げ、『一握の砂』を著した。このような自然主義に対して、知識人の内面生活を国家・社会との関係でとらえる(G)夏目漱石の作品群が現れた。

問1 文中の空欄 [31] に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 立憲政友会 ② 憲政党 ③ 立憲改進黨 ④ 憲政会

問2 文中の空欄 [32] に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 松方正義 ② 原敬 ③ 山本権兵衛 ④ 桂太郎

問3 文中の空欄 [33] に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 西園寺公望 ② 星亨 ③ 井上馨 ④ 黒田清隆

問4 文中の空欄 **34** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 福島事件 ② 北清事変 ③ 坂下門外の変 ④ 江華島事件

問5 文中の空欄 **35** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい

- ① 非戦論・反戦論 ② 日露協商論
③ 開戦論 ④ 征韓論

問6 文中の空欄 **36** に入る国名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① フランス ② ドイツ ③ イタリア ④ アメリカ

問7 文中の空欄 **37** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 岩崎弥太郎 ② 豊田佐吉 ③ 渋沢栄一 ④ 杉山元治郎

問8 文中の空欄 **38** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 坪内逍遙 ② 石川啄木 ③ 二葉亭四迷 ④ 尾崎紅葉

問9 下線部(A)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **39** にマークしなさい。

- ① 日本全権伊藤博文・陸奥宗光と清全権李鴻章とのあいだで講和条約が結ばれた。
② 下関で講和条約が結ばれた。
③ 条約の中で清は台湾の独立を認めた。
④ 清は遼東半島などを日本に譲ることになった。

問10 下線部(B)の初代党首を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **40** にマークしなさい。

- ① 福地源一郎 ② 尾崎行雄 ③ 大久保利通 ④ 板垣退助

問11 下線部(C)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **41** にマークしなさい。

- ① 地租増徴案を成立させた。
② 大隈重信を外務大臣として入閣させた。
③ 文官任用令を改正した。
④ 軍部大臣現役武官制を定めた。

